

市町認知症施策の取組状況調査結果の概要 (令和3年度長寿介護課調査)

- 調査目的:市町における取組状況を把握し、参考となる先進事例や施策実施上の課題を抽出するための参考とする。
- 調査対象:市町認知症施策担当者
- 調査方法:調査票をメール配布・回収
- 実施時期:令和4年1月
- 回答状況:全20市町
- 各市町の回答状況:別紙のとおり



1 認知症高齢者数等の把握

独居高齢者などの見守りが必要な高齢者(数)

(単位:市町数)

選択肢	R2	R3
① 把握している	15	15
② 把握していない	0	0
③ その他	5	5

<③ その他の内容>

- ・住民基本台帳にて単身高齢者数は把握(伊予市)
- ・西予市避難行動要支援管理運営事業、緊急通報体制整備事業申請分は把握(西予市)
- ・住民基本台帳及び避難行動支援名簿により概ね把握(上島町)
- ・独居及び高齢者のみの世帯は把握(久万高原町)
- ・住民基本台帳における独居高齢者、災害時避難行動要支援者、緊急通報システム利用者、認知症高齢者等SOSネットワーク事前登録者等により把握している。(愛南町)

2 認知症に関するニーズ等調査や実態把握

認知症に関するニーズ調査等の取組

(単位:市町数)

選択肢	本人		本人の家族		本人及び家族以外	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3
① 取組あり	7	12	10	15	8	11
② 取組なし	11	8	7	5	10	6
③ その他	2	0	3	0	2	3

<① 取組の内容>

【本人】

- ・窓口対応、訪問相談対応、電話対応時に聞き取り
- ・認知症カフェ利用時、本人ミーティング時の聞き取り など

【本人の家族】

- ・窓口対応、訪問相談対応、電話対応時に聞き取り
- ・認知症カフェ利用時、家族のつどい時、本人ミーティング時の聞き取り
- ・認知症家族介護教室において、アンケートを実施 など

【本人及び家族以外】

- ・出張相談時に住民向けアンケートを実施
- ・民生委員、近隣住民、担当ケアマネ等からの聞き取り など

3 認知症又は認知症の疑いによる行方不明者・身元不明者

(1) 認知症又は認知症の疑いによる行方不明者が発生した場合の対応

(複数選択可) (単位:市町数)

選択肢	R2	R3
A SOSネットワークへの搜索協力依頼	14	14
B SOSネットワーク <u>以外</u> の関係機関 (民間事業者、住民団体等)への搜索協力依頼	2	2
C オレンジネットワークを活用した県内外への 搜索協力依頼	10	10
D 防災無線を活用した地域住民への搜索協力依頼	20	20
E GPS等徘徊高齢者位置情報サービスを活用した 搜索活動	3	4
F その他	4	4
<B SOSネットワーク <u>以外</u> の関係機関の内容> ・校区の住民ネットワーク(新居浜市) ・介護ネット東温(市内の介護保険サービス事業所のネットワーク組織) 会員事業所(東温市)		

3 認知症又は認知症の疑いによる行方不明者・身元不明者

<F その他の内容>

- ・西条市安全・安心情報お届けメールを活用した地域住民等への搜索協力依頼(西条市)
- ・メール配信を活用した搜索協力依頼(四国中央市)
- ・多職種クラウドシステムで情報提供(西予市)
- ・オレンジネットワークの要綱は作成しているが実績がない(伊方町)

(2) 市町で把握している身元不明の高齢者の把握

(単位:人数)

選択肢	R2	R3
身元不明で施設入所している高齢者数	0	0
うち、認知症又は認知症の疑いによる者の数	0	0

4 認知症の人を地域で支援する体制(ネットワーク)

ネットワークの形成を促進するため、どのような取組をしているか。(複数選択可)
(単位:市町数)

選択肢	R2	R3
A 連絡会の開催	8	8
B マップの作成	1	1
C 家族会への参加	3	3
D 連絡網の作成	2	2
E 個別事例・課題の支援、検討会	12	12
F 日常業務を通じた代表者との話し合い	6	4
G 日常業務を通じた実務者との話し合い	11	13
H 合同事業の開催	2	2
I その他	5	6
J 特になし	1	1
<p><I その他の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度に1回「いまからネット通信」を発行し、情報提供(今治市) ・高齢者への声掛け訓練の実施(宇和島市) ・生活介護サポーター養成講座の中に認知症サポーター養成講座を取り入れている(久万高原町) ・事業所を訪問し、見守り協力店の登録をお願い(西予市、砥部町) ・見守りステッカー協力店の推進(鬼北町) 		

5 認知症に関する取組

(1) 市町内での取組(複数選択可)

(単位:市町数)

選択肢	R2	R3
A 認知症施策の実施計画の策定 (介護保険事業計画における策定を含む)	20	20
B 職員に対する研修会・勉強会等の開催	9	10
C 連絡会の開催等、行政内の保健・医療・介護・福祉分野が連携するための取組	8	11
D 国や関係機関等で開催される研修・セミナー等への参加	19	20
E 認知症予防教室の開催	10	11
F タッチパネル等による認知症初期スクリーニングの実施	6	6
G 専門医による相談事業の実施	8	7
H 認知症カフェの開催	10	11
I ピアサポート活動支援の実施 (認知症本人による相談支援や当事者同士の交流など)	1	0
J 認知症本人との交流会や研修会等の開催 (ピアサポート活動以外)	0	2
K チームオレンジの設置(認知症本人や家族の支援ニーズに応える認知症サポーターの活動など)	0	3
L 高齢者による運転免許証の自主返納に向けた取組の実施 (運転経歴証明書発行手数料の補助など)	9	9
M その他	2	1

5 認知症に関する取組

<L 高齢者の運転免許証の自主返納に向けた取組の内容>

- ・運転経歴証明書の交付手数料1,100円および郵送料を補助(今治市)
- ・「伊予鉄ICい〜カード1万円分」、「JR四国旅行券1万円分」、「初乗り基本料金相当分のタクシー券20枚」のいずれかを交付(松前町)
- ・5,000円相当のタクシー利用助成券かバスの乗車券を交付している(砥部町)
- ・町内のタクシー会社や町営バス・デマンドバスで利用できる「助成券」を合計3,300円分交付(内子町)
- ・交通利用券(町内のバス、タクシー利用可能)または伊方町地域商品券を交付(毎年15,000円、3年限度)(伊方町)
- ・運転免許証の自主返納等条件を満たす方に対し、タクシー利用券(1回の利用につき料金の半額を超えない金額まで使用可能)の交付(1枚100円、1ヶ月20枚を上限)や松野町コミュニティバス運賃の免除または温泉施設使用料の一部減免(年度60回限度)を実施(松野町)
- ・運転経歴証明書の交付手続きや高齢者運転免許自主返納にかかるタクシー又は給油補助券を交付(鬼北町)
- ・65歳以上の運転免許証自主返納者に対し、タクシー補助券(1枚500円、年間50枚、3年限度)を交付(愛南町)

<M その他の内容>

- ・要介護認定後のサービス未利用者を抽出し状況を確認した上で、介護保険サービスや介護保険サービス以外の支援につなぐ等の対応を行っている。(西予市)

5 認知症に関する取組

(2) 住民への普及啓発(予防を含む)(複数選択可)

(単位:市町数)

選択肢	R2	R3
A 講演会の開催	9	10
B 予防教室、研修会等の開催	14	14
C パンフレット等の作成	9	13
D 広報誌への記事の掲載	12	14
E 認知症サポーター養成講座の実施	19	18
F キャラバン・メイト連絡会の開催	4	4
G 認知症サポーターステップアップ講座の実施 (チームオレンジ)	2	5
H 認知症サポーターに対する研修の実施 (チームオレンジ以外)	3	2
I その他(世界アルツハイマー月間の取組) ・認知症を知るキャンペーンでパネル展等を実施(今治市) ・市内図書館及び書店と連携し書籍コーナーの設置、オレンジライトアップの実施(宇和島市) ・オレンジライトアップや図書館等における認知症パネル展などを実施(四国中央市) ・ロビー展、広報誌掲載(西予市) ・図書館、スーパーと連携しイベントを実施。(久万高原町)	4	5

【参考】県内の認知症サポーターの数

(キャラバン・メイト連絡協議会HP資料から作成)

市町名	令和3年3月31日現在		令和4年3月31日現在		サポーター 増加率
	講座開催 (回)	サポーター (人)	講座開催 (回)	サポーター (人)	
県	202	10,038	208	10,265	2.3%
松山市	1,022	40,207	1,059	42,472	5.6%
今治市	536	19,419	562	20,582	6.0%
宇和島市	379	11,578	394	11,904	2.8%
八幡浜市	177	5,991	177	5,996	0.1%
新居浜市	416	17,530	446	19,354	10.4%
西条市	317	13,713	365	14,439	5.3%
大洲市	64	2,235	64	2,235	0%
伊予市	75	2,319	84	2,545	9.7%
四国中央市	321	13,629	330	14,101	3.5%
西予市	184	6,214	189	6,439	3.6%
東温市	167	4,503	171	4,557	1.2%
上島町	52	925	54	966	4.4%
久万高原町	107	2,962	113	3,068	3.6%
松前町	56	1,322	58	1,332	0.8%
砥部町	67	2,028	71	2,081	2.6%
内子町	23	1,053	23	1,053	0%
伊方町	31	734	32	741	1.0%
松野町	26	471	26	473	0.4%
鬼北町	98	2,210	106	2,376	7.5%
愛南町	119	2,160	121	2,168	0.4%
合計	4,439	161,241	4,653	169,147	4.9%

5 認知症に関する取組

(3) 認知症サポーターを活用した(するための)取組(複数選択可)

(単位:市町数)

選択肢	R2	R3
A 徘徊模擬訓練のサポート	2	2
B 認知症カフェ、つどいでのボランティア	12	10
C 訪問によるボランティア	1	1
D 認知症サポーター養成講座等の運営協力	3	3
E 認知症施策の企画への参画	2	2
F 登録制(活動意欲がある方の登録)の実施	7	7
G その他	4	5

<G その他の内容>

- ・徘徊模擬訓練や登録制の導入を検討(実施には至らず)(大洲市)
- ・介護予防サポーター養成講座の1コマに認知症サポーター養成講座を取り入れ、両サポーターの養成に努めている(西予市)
- ・認知症キャラバン・メイト養成研修の案内(東温市)
- ・認知症パネル展で認知症サポーターからのメッセージを展示(上島町)
- ・認知症サポーター養成講座受講者の名簿作成(鬼北町)

5 認知症に関する取組

(4) 認知症の人の家族への支援(複数選択可)

(単位:市町数)

選択肢	R2	R3
A 認知症に関する相談窓口の開設	19	20
B 認知症に関する家庭訪問・アウトリーチ	19	19
C 認知症の人の受診援助・退院支援	16	17
D 認知症家族介護教室の開催	4	6
E 家族の交流会等の開催	11	11
F 家族会等自助グループ活動支援	4	4
G GPS機器の貸出等による徘徊高齢者位置情報サービスの利用支援	6	6
H その他	5	4
<H その他の内容> <ul style="list-style-type: none"> ・徘徊高齢者等SOS事業事前登録者へのQRコードシールの配付(今治市・西予市) ・徘徊高齢者事前登録、OSN(スマートフォンを活用した行方不明時の検索アプリ)への登録(久万高原町) ・徘徊見守り高齢者事前登録(内子町) 		

5 認知症に関する取組

(5)関係する事業所への支援(複数選択可)

(単位:市町数)

選択肢	R2	R3
A 研修会の実施	8	6
B 事例検討会の実施	9	10
C 事業所主催の会議、事例検討会等への参加	9	11
D その他	4	2

<D その他の内容>

- ・認知症高齢者の困難事例の相談対応(内子町)
- ・相談時の助言(鬼北町)

5 認知症に関する取組

(6) 医療との連携(複数選択可)

(単位:市町数)

選択肢	R2	R3
A 医師等による相談会の実施	5	6
B 医師による訪問相談指導の実施	4	3
C 健康相談の際に物忘れ検診を実施	1	0
D 医師が出席しての事例検討会、会議等の開催	7	7
E 認知症サポート医への依頼や連絡等の連携	18	18
F 認知症疾患医療センターとの連携 (連携会議への出席等)	14	13
G その他	5	2
<p><G その他の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援事業における連携(西条市) ・かかりつけ医への連絡等(松野町) 		

5 認知症に関する取組

(7) 徘徊SOSネットワーク(複数選択可)

(単位:市町数)

選択肢	R2	R3
A 関係機関による連絡会等会議開催	7	7
B 地域資源マップの作成	4	4
C 徘徊模擬訓練の実施	5	4
D 事前登録の実施	14	14
E 情報配信方法の設定(メール連絡など)	11	11
F シンボルマーク、キャッチフレーズ、ステッカー等による啓発	9	10
G その他	2	1
<p><G その他の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力機関に「いまからネット通信」配布、事前登録者へQRコードシール配布(今治市) 		

※(7)Aのうち、警察も参加している → 6市町/7市町

5 認知症に関する取組

(8) 若年性認知症(複数選択可)

(単位:市町数)

選択肢	R2	R3
A 人数やニーズ等の実態調査の実施	2	3
B パンフレット、ポスター等普及啓発資材の作成	2	2
C 専門相談窓口の開設	0	0
D 庁内担当部局による対策検討会、連絡会等の開催	0	0
E その他	6	7

<E その他の内容>

- ・若年性認知症支援コーディネーターとの連携、家族会への手伝い(松山市)
- ・認知症カフェ参加の呼びかけ(松山市)
- ・若年性支援コーディネーターの周知(八幡浜市)
- ・個別相談、パンフレットの配布(新居浜市)
- ・県作成のリーフレット等の配布(東温市)
- ・障がい係との情報共有、担当ケアマネや事業所との情報交換(久万高原町)
- ・若年性認知症支援コーディネーター主催の研修会参加(鬼北町)
- ・認知症初期集中支援チームでの事例対応、ケアマネジャーの後方支援(愛南町)

5 認知症に関する取組

(9) 認知症に関する取組における新型コロナウイルス感染症の影響

① 自粛している主な取組

- ・ 認知症カフェ、本人ミーティング
- ・ 認知症サポーター養成講座
- ・ 徘徊模擬訓練
- ・ 認知症普及啓発活動（講演会、研修会等）
- ・ 介護予防教室、家族介護教室、家族のつどい 等

② 工夫して実施している主な取組（感染対策等）

- オンラインの活用
- 予約制の導入
- 感染予防対策の徹底
 - ・ マスクの着用、アクリル板の設置
 - ・ 手指消毒、物品消毒、換気の徹底
 - ・ 検温、行動履歴の確認、参加者の体調確認
 - ・ 人数制限、開催時期の変更、開催回数の変更
 - ・ 会場および配席の調整、ソーシャルディスタンスの確保
 - ・ 認知症カフェでの飲食の禁止 等

6 その他

※()内は同一内容の市町数

(1) 他の市町から知りたいことや参考にしたいこと(13市町から回答)

- ・認知症サポーター活動推進・地域づくり推進事業の取組(1)
- ・チームオレンジの取組(8)
- ・認知症施策推進関係者協議会(1)
- ・認知症本人の視点や家族の視点についての取組(2)
- ・認知症施策取組の現状(1)
- ・ピアサポート活動支援(1) ・本人ミーティングの取組(1)
- ・若年性認知症施策の取組(1)
- ・コロナ禍で自粛となった事業の代替措置(1) 等

(2) 認知症の人や家族の支援をする上で困っていること、課題等(4市町から回答)

- ・認知症サポーター活動推進・地域づくり推進事業(チームオレンジ)について、具体的なマニュアルがない。
- ・認知症カフェの立ち上げ。
- ・若年性認知症者及びその家族の存在把握が困難。
- ・認知症の症状が軽い人や若年層が通える場がない。
- ・認知症についての継続的な普及・啓発、相談窓口の周知。
- ・多職種連携。

チームオレンジについて

【認知症施策推進大綱】

認知症サポーターの量的な拡大を図ることに加え、今後は養成するだけでなく、できる範囲で手助けを行うという活動の任意性は維持しつつ、ステップアップ講座を受講した認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み（「チームオレンジ」）を地域ごとに構築する。

KPI/目標（大綱の対象期間は令和7年まで）

全市町村で、本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み（チームオレンジなど）を整備

【認知症サポーター等養成事業実施要綱】

ステップアップ講座

○対象者

認知症サポーター養成事業の講座修了者

○研修内容・時間

認知症サポーターが目指す実際の支援活動の内容に応じて、具体的な研修内容や時間を設定

【認知症サポーターチームオレンジ運営の手引き(研修テキスト)】

チームオレンジ三つの基本

- ・ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている
- ・認知症の人もチームの一員として参加している(認知症の人の社会参加)
- ・認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる

【地域支援事業交付金実施要綱】

・地域の認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーター(認知症サポーター養成講座に加えステップアップ講座を受講した者)を中心とした支援をつなぐ仕組み。

・チームオレンジによる支援

外出支援・見守り・声かけ・話し相手・認知症カフェの同行支援・単身高齢者が多く暮らす地域の定期巡回 など

【全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議(令和4年3月)】

○「地域支援事業交付金実施要綱」の記載は、交付金の対象となる事業の「最低限の要件」を示すもの。

○「認知症サポーターチームオレンジ運営の手引き」における「チームオレンジ三つの基本は、「理念」を示したものの。

【令和3年度及び令和4年度当初認知症総合支援事業費等実施状況調べ (厚生労働省調査)】

「認知症サポーターチームオレンジ運営の手引き」で示されている「チームオレンジ三つの基本」を満たしているものを「チームオレンジ①」

「チームオレンジ三つの基本は満たさないものの、本人・家族のニーズとステップアップ講座を受講した認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みが構築されているものを「チームオレンジ②」として、設置状況を調査している。

【県内の設置状況】

令和4年7月末時点

設置済市町 3市町 設置数 3チーム

設置までの経緯

- ・認知症カフェのスタッフを中心に、ステップアップ講座を実施
- ・地域のボランティア団体を中心に、ステップアップ講座を実施
- ・キャラバン・メイトを対象にステップアップ講座を実施、チームオレンジの趣旨に賛同した者を対象にチームオレンジ検討会を行い、設置に向けた協議を重ね、新たにステップアップ講座を受講した者を加え、立ち上げ。

【今後の設置予定】

令和3年度及び令和4年度当初認知症総合支援事業費等実施状況調べ(厚生労働省調査)

令和3年度時点で設置	2市町
令和4年度	3市町
令和5年度	4市町
令和6年度	1市町
未定	10市町

【市町の抱える課題(立ち上げのための課題)】

【マンパワー不足等】

- ・地域の理解者・協力者を探すことが困難。
- ・チームリーダーの育成。
- ・チームオレンジの母体となる社会資源の調査が不十分である。

【住民の理解等】

- ・既存の地域資源をチームオレンジに移行する場合、住民に趣旨や活動を理解してもらうには、どのような展開をすればよいのか。
- ・「認知症サポーター講座」及び「ステップアップ講座」の受講が負担。
- ・参加者の負担が大きい。

【業務多忙】

- ・小規模な自治体であるため、役割を担う人材が限られており、新たなものを立ち上げるのは難しい。

【その他】

- ・認知症本人の参加

※立ち上げ未定の市町には、課題についてなしと回答しているところもある。